視察・活動

■第19回ありのまま自立大賞授賞式参加
（7月22日・青葉区）

■「史跡陸奥国分寺・尼寺跡ガイダンス施設」内覧会参加
（7月26日・若林区）

奈良時代の寺院建築における廻廊を再現した「天平廻廊」

■「自動運転の社会実装化と自治体政策」研修会参加　（7月31日・東京都千代田区）

■横浜市の納骨堂整備・市議会基本条例、横須賀市の先進的な産後ケア事業・横須賀芸術劇場の視察　（8月7日~8日）

■東日本大震災後はじめて被災地宮城で開催された、第46回全国消防救助技術大会参加　（8月23日）

仙台市消防局の「引揚救助」

■仙台・福島・山形市議会広域観光推進協議会 平成29年度 定例会・研究会参加
2016年2月から全国初の民営化となった仙台空港の運営について、交流人口の増加や地域経済の活性化を目指して、民間発想の様々な取り組みで旅客数が着実に増加している。（8月29日・福島市／11月2日・青葉区）

■定禅寺ストリートジャズフェスティバルの鑑賞
今年で27年。仙台市中心部48か所、756バンド5000人の奏者によるイベントに発展しました。　（9月9日・青葉区）

■仙台市出身の漫画家・荒木飛呂彦氏の「荒木飛呂彦原画展 ジョジョ展in S市杜王町2017」鑑賞　（9月10日・青葉区）

■仙台・福島・山形広域観光連携に関する提言を郡市長に申し入れました。　（10月2日）

お知らせ

- 今議会から、総務財政委員会の副委員長を務めてまいります
- 交通政策特別委員会（２年間の調査）委員
- 仙台・福島・山形市議会広域観光連携推進協議会監事
- 仙台市宅地保全審議会委員
- 仙台市・川崎町広域行政連絡協議会委員
- 全議員で構成するいじめ問題等対策調査特別委員会委員

※音声コードUni-Voiceは視覚障害者の方のための「文章読み上げ装置」用のコードです。装置は、仙台市内各区役所に設置してあります。スマートフォンにも対応しており、iOS/Android用のアプリを公開しています。（無料）

仙台市議会議員 さとう和子 活動レポート 第23号

スマイル通信

Sato-Kazuko Smile report　2017年 秋 号

〒982-0804 仙台市太白区鈎取2丁目1-3 TEL&FAX 022-245-7245
E-mail:sato@sendai-komei.jp　URL http://www.sato-kazuko.net

あなたの未来に笑顔と元気を!

一人の声を大切に!
100万人の笑顔のために!

この度、「さとう和子スマイル通信秋号」を作成いたしました。
新市長のもと開会した第3回定例会での一般質問、平成28年度決算等審査特別委員会の質疑等、ご一読いただければ幸いでございます。

私がこれまで長年取り組んできた課題に不育症支援があります。妊娠するものの流産死産を繰り返す病気です。1978年に、日本ではじめて不育症専門外来を開設した静岡県小山町の小山病院院長　牧野恒久氏の著書に「年間30万件ある自然流産のうち治療対象になる患者に不育症治療を施せば、年間5万3,000人の赤ちゃんが救える」と述べております。

今回の発言に向けて患者会の方の壮絶な体験を伺うことができ、さらに調査を重ね、晩婚晩産時代の少子化対策として重要な施策であると訴えました。今後も粘り強く取り組んでまいります。　2017年11月吉日　仙台市議会議員　さとう和子

■秋保・二口林道の整備で観光交流の活性化へ!

現在、宮城県において山形県山寺と秋保を結ぶ二口林道の整備が行われており、平成29年度完了予定で宮城県管理分の約10キロが全面舗装となります。このことにより、開通期間が短期間限定だったところ、約6か月間の開通となり、山形との相互交流人口が期待されております。

二口林道愛護会の方々と現地調査（8月20日）

今議会の一般質問で開通期間の延長に伴い、住民のお声を通し、渋滞対策や県道の安全対策、駐車場、トイレ、案内板の増設などの環境整備やさらなる秋保の魅力発信と「二口峠」の観光資源としての取り組みを強く推進すべきと訴えました。市長からは「快適かつ安全に観光してもらえるよう、国や県とも連携し、磐司岩の眺望確保等に必要な環境整備を検討していくとともに、様々な機会等を活用し、情報発信にも努めてまいりたい」と前向きな答弁がありました。

野尻交流カフェ「ばんどころ」オープン（10月14日）

国の名勝　新緑・紅葉の磐司岩

※音声コードUni-Voiceは視覚障害者の方のための「文章読み上げ装置」用のコードです。装置は、仙台市内各区役所に設置してあります。スマートフォンにも対応しており、iOS/Android用のアプリを公開しています。（無料）